



第50号

水陸早期栽培特集号

発行所
大根占町役場

早期栽培を 推進するに当つて

町長 遊 喜 半 次 郎

全国的に台風銀座と称さは、誠に意義深いことである本県では、防災營農が、本町においては、その必然的であり、基本方針で効果大なるものがあることあると思います。

とくに今回、県政の重点 防災營農として、水陸稲施策として、防災營農の確の早期栽培を推奨するに当立が強力に推進されること、本町主要食糧の自給度

の向上と、その増産に努め農家経済力を高めつつ、農業資本の蓄積に努力し、早期栽培によつて、総合的土地利用の高度化をはかり、労力の均等化、潜在労力の消化によつて、最高度の増産と共に、農業経営の合理化に寄与され、営農目的に一段と邁進されるよう希望します。

鹿児島県の農家一戸当りの平均反別、五反五畝をはるかにうまわる大根占町が、生産の上らない理由は数多くあると思ひますが、何といつても最大の原因は、立地的条件と、毎年襲つてくる台風の災害でありましよう。

立地的条件は、現在の施策では不可能としてあきらめねばならないが、台風について調べてみると、過去六五年間に大小いろいろの台風が襲来しています。

二〇米以上の台風が三八回二五米以上の台風が一七回もあります。しかも、この二五米以上の台風は、ほとんど八月下旬から十月にかけて吹いています。

これは、稲の開花前後に当る期間で、最も稲の一生を通じて大切な時期になっています。このように大事な開花ならびに、取かく時期を、台風からはずすために、技術的に考えられたのが、水陸稲の早期栽培であります。

普通の水稲は、五月から十月にかけて栽培されますが、これを早く植えて、台風シーズンの前に収かくしようというのであります。

それと、時期的に忙しい秋の労力の分配と、輪作関係による労力の均等化、あるいは、盛夏の草取り、重労働の難儀を一掃しようというのです。

なお、裏作係が確立されるにつれて、換金作物、または飼料作物の導入による現金化は、今後の農業経営はもちろん、経済的にも益々有利になることでしよう。

早期栽培は、なぜ必要か!!

防災營農で經營を安定させよう

水稻の早期栽培

1、品種 三三年度は、

次の種類を播種する。
水稻農林一七号 彦太郎
もち、二期作用には「ト
モエサリ」の極早生種

2、種籾の準備

イ、塩水選 比重一・一〇

(水一斗に塩二升五合をとかす)、糯は比重一・〇八(水一斗に塩二升)の塩水で、種籾を選別する。海水を使つてもよい。
口、水づけ 塩水選はすばやくやり、摄氏一五度の水に、七日ぐらい種籾をつける。

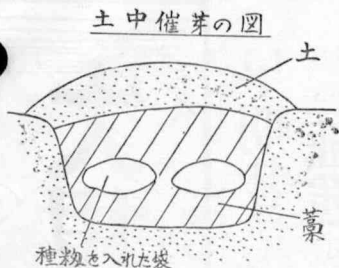
水は、毎日とりかえる。

ハ、消毒 水一斗にウスブルン五匁をとかし、(一〇〇〇倍液)水を切つた種籾を、六〜一二時間つけ

る。

二、催芽(芽出し)

三七〜三八度の風呂湯につけ、芽をきつた程度の芽出しをする。夕方風呂湯につけ、翌朝とり出し



たとき、芽をきつていなければさらに三七〜三八度の湯につける。種籾は袋に入れ、湯ははじめ四〇度ぐらいにしておき、中につけたらクフタをしてむしろなどをかぶせ温度が下らないようにする。

また、種もみはふくれるから、袋の八分目くらい入れる。四〇度になつたら火は完全に消す。芽が



苗代を作つていところ

3、苗代

イ、位置

①日光が充分に当るところ ②北と西側から風が当らず暖いところ ③水かけ、水はけのやりやすい、管理に便利なところを選ぶ

ロ、作り方 (保温折衷苗代)

普通のやり方と同じように、数回すき起し、水を入れてマンガで均し、水を落し「ヨウカン」ぐらの固さにする。

肥料は坪当り、硫安四八、種末五(さしえ参照)

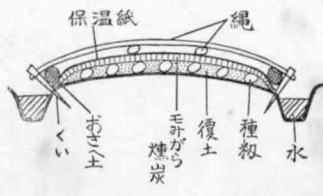
完全にきれたら、次の図のように土中催芽をする

土中催芽のやり方

深さ一尺五寸の穴を掘り底とまわりに藁をしき、三八度の湯をかけて、袋に入れた種籾をおき(袋はなるべく扁平に)上から湯をかけ、また藁をかぶせ、湯をかける。その上から土をかぶせて一昼夜放つておくと芽出しができる。

芽が二分、根が三分くらい出たときが適当である雨水にあわせないように注意する。

苗代の断面図

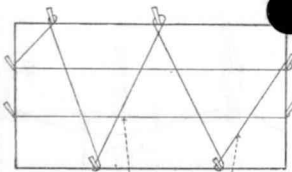


十匁、過石五〇匁、塩加三五匁の割で、混合し、「ヨウカン」の固さになつてから撒布する。

床作り

ナワで、播き床の巾四尺二寸、溝の巾一尺として型をつけ、溝を三すくりにひろげ、床面はややかマボコ型にし、板で地ならしをして、デコボコをなくする。

縄の張り方

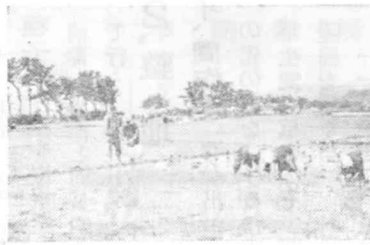


從繩 横繩

- ① 種扱は、床の両端二寸づつを残し三尺八寸巾に平均に播く。
- ② かぶせる土は、フルイでとおした細い土で、芽がかくれる程度にかぶせる
- ③ モミガラ燐炭を準備しておき坪当り七升くらい撒

- 布する。
- ④ モミガラ燐炭を撒布したら、保温紙をかけ、端を溝の土でおさえる。
- ⑤ 保温紙が破れないように図のようにナワを張る。
- ⑥ 水は、溝の八分くらい入れる。
- 二、苗代の管理
- ① 保温紙がぬれたり、泥でよごれたら、きれいにふきとる。とくに雨の後には気を付ける。
- ② ナワのたるみをよくなおす。
- ③ 第三葉が出かき、草丈で二寸くらいに伸びたこ

- ろ、保温紙をとりのぞく
- ④ 保温紙をとつてからの管理は普通苗代と同じで、床面に浅く水をかける。
- 保温紙をとつた直後は、スズメの害に注意する。
- ⑤ ツマグロヨコバイなどの害虫は、DDT乳剤二〇〇倍液、PB粉剤をかけて防ぐ
- 参 考
- 反当り種子量は五升、苗代の面積は、反当り一〇坪(坪四合播)の説、一五坪説がある。方針を統一して、後でお知らせします。



本 田

4、本田

イ、田植

四月中旬ごろまでに、耕起して荒代かきをやり、田植前に落水して肥料を平均に撒布し中すきをやつて落水後、植えしろかきを行う。

苗代は、あらかじめ、水を深くかけ、苗は泥を落して、根もとをそろえて結束する。

早期栽培では、まだ地温が低いので、できるだけ、浅植えにする。畦巾一尺、株間四寸、坪当り九〇株を植える。

ロ、肥料

肥料は、普通栽培の標準より少なめに燐酸、加里が不足しないようにする。

標準は、反当り堆肥三〇〇貫、硫酸八貫、過石八貫、塩加三貫とし、硫酸八貫のうち、四貫を基肥に、残り四貫を追肥にやり、他の肥料は、全量を基肥とする。

ハ、管理

田植後一週間くらいは、できるだけ深水とし、活着したらなるべく、浅水にして、地温をあげるようにする。

普通栽培と重なるので害虫の発生に都合がよく

なる。とくに二三化メイ虫が発生しやすいので早期栽培のとき、メイ虫の早期発見につとめ、徹底的に駆除する。

二、収かく

穂先が五〇〜六〇％出たときから、三〇〜三五日後に刈取ればよい。このころ、扱は大部分黄色く熟し、穂の下の方に、ごく僅かな青味があるが刈取つてかまわない。

刈取つた稲を急に乾燥すると、米が胴割れになりやすいのでかならず、架干を四、五日する。なお脱穀した後は、粃のむしろ干しはしない方がよいが、乾燥の悪いのは、日かげの風とおしのよい場所、一日くらいむしろ干しつよい。

陸稲の早期栽培

1、品 種

早期用の陸稲種子は、まだ確立されていないが、さしあたり三二年度は、次の種類を用いる。

農林二一號、東海二九號、西海二八號(糯)

種子の予措は塩水選と、消毒を水稻と同じやり方で行う。

2、整 地

イ、間作法 芽が出たころの雀の害をさけるため、早生麦を植えてその間に陸稲を播く。

一月中旬に、畦巾三尺、播き巾六寸に麦を播き、霜がなくなつてから稲をまく。冬の間に麦の間を中耕して、雑草が生えないようにしておく。

ロ、普通のまき方

麦の間作をしない場合は、秋まきルーピンを作り、陸稲をまく前に収かくし、跡地を整地して畦巾一尺五寸と一尺八寸の溝をつくる。

3、種まき

時期は四月五日まで、反当りの種子量は五升か、六升

基肥をよく混合して播き溝にむらなく撒布し、その上に一寸ぐらい土をのせ(間土)、蹴でよくならしてから、播き巾を四寸として種子をまく。土は五分と一寸かぶせる。

4、肥料

基肥に、堆肥三〇〇貫

(さしえ参照)

5、管 理

イ、間引きと補植

五月中旬、畑に湿気のあるきき、一尺の間に、一五と二〇本残して間引き発芽がわるく、株の欠けたところには補植する。

ロ、中 耕

芽が出てから三週間目にやみ深目にカルチベーターか、蹴で第一回の中耕をやり、その後三週間目に第二回の中耕を行う。

麦の間作をした場合は刈取つてすぐ、刈株跡、と列間の反転中耕をやりその後三週間目に第二回の中耕を行う。

、病虫害防除

イ、二化メイエ虫

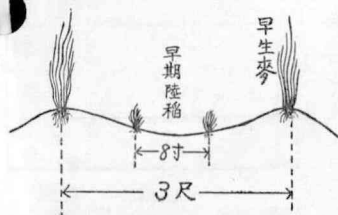
発蛾最盛期は、六月下旬から七月上旬で、それから七日と一〇日目に驅除する。

ロ、大メイ虫

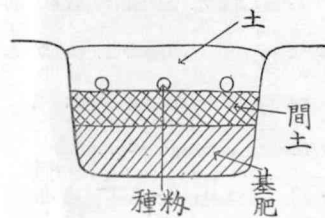
五月上旬、七月上旬の二回驅除する。

農薬は、PB粉剤またはタバコBHC、EPN乳剤(四五%)の一〇〇〇倍液(一石撒布する

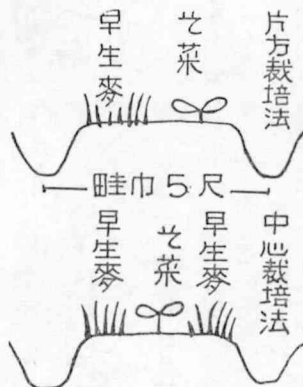
麦間栽培法



のまき方



栽 培 法



早 期 栽 培 跡 作 一 覧 表

月別 号	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
①	早期水稲					飼料かぶ			ばれいしよ				
②						秋ばれいしよ			時なし大根				
③						菜類ホーレン草			早生むぎ				
④						甘らん			早掘ばれいしよ				
⑤						玉ねぎ(早生系がよい)							
⑥						そらまめ、れんげ、ルーピン、えんばく							
⑦						えんどう(グリーンピース)							
⑧						そば			早生むぎ				

支 払 金 の 計 算 法

$$\text{支払金} = (\text{改正小作料の11倍一買収当時の対価}) \times \frac{10 - \text{買収からの経過年数}}{10}$$

例えば改正小作料が一四〇〇円の畑で、買収当時の対価が二三円、買収が二十七年七月一日付の場合には次のようになります

$$(15,400 - 23) \times \frac{10 - 4}{10} = 9,226 \text{円}$$

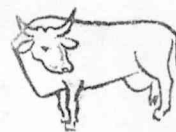
今までとすると相当引上げられています。

お 知 ら せ

買収農地を賣買するときの政府への支拂金が高くなりました。

以前、政府が買収した農地を賣買する場合、政府に納める金額が次のように引きあげられることになりました。

買収農地を賣買するとき、このことをよく知つて、手落ちのないようにして下さい。



素牛の選定がだいじ

肉牛を育てる話

すワラにニゴリでは太らない

せつかくもつている牛だからまるまる太らせて高く売りたいものである。

大事である

先づ牝がよいか、牡がよいか、去勢がよいか、日本で

肥育という点、極端な形は処女牝牛の肥育をしたもので、濃厚飼料と粗飼料による飼育、即ち購入飼料という潜在感がある。全般的に○文位高い。然し処女牝牛本町の家畜管理の実態をみると、青草の時期にはのり、冬になると、す藁的に引合う即ち各戸の農家と、自家で煮た飼料(俗称経営を良く考えて行いたい)に、いれゆる親子どんぶりかけできることなら各農家が生座する仔牛を去勢して肥育したいものである。そりやめ、この時期に立派な牛も形がくずれて駄目になる傾向がある。和牛の飼いは草の価値を知つて、草を主とした飼料計画を樹て、各農家の環境の特色を生かし、上上の危険分散ができ、購入飼料で生れる、即ち「金で肥らず土で肥らせると云う肥育でなければならぬ。

⑥高く売れる牛を選ぶことと同じ体重及年令でも高く売れる牛とそうでない牛がある故に替えの高い(単価の高い牛)牛を選ぶことが大切である(処女牛の場合は特に大切なり)

C 資質のよい牛を選ぶこと

資質とは牛の角、毛、皮、骨繋り、骨味、蹄の総称で、角の色は水青色か黒で太くないのが良い、白角は好ましくない。

④毛が細く柔らかく真黒いのよりいくらか褐味を帯びたのがよいが、灰色はよくない。

⑤皮が柔らかくて弾力があり、ゆとりのある、厚くないのがよろしい。

⑥蹄の色や質がよいのがよい。

⑦大きさが適当な牛を選びたい(大貫物)をさけた。

⑧豚尻「かも牛」は避けた。

D 肥育時期と肥育時季

①肥育期間

処女牝牛は素牛の栄養状態によつて差があるが大體六ヶ月と一年位特殊なので一年半位する老廃牛では短期肥育がよい老牛

A 肥育牛は素牛の選定が

⑤性質は温和で消化器は丈夫で發育の良好なこと

①老廢牛を用いて並みの肉牛をねらう行き方
②去勢牛又は牡牛を用いて並みの肉牛を狙う行き方
③処女牝牛を用いて最上の肉牛を狙う行き方

②皮膚にゆとりのあること
③顔が細長に過ぎず、口大きく顎の張つていること
④頸は短かめで肩は厚いもの
⑤太り易い牛を選ぶこと
①体の巾と深みに富み中腰が大きく肋張りのよいこと

は、
脂肪は主として内臓に貯つて肉の間に脂肪が入らないので、半肥育程度で売つた方がよい。(肥育期間が育肥の時季は七月頃素牛



Ⅱ 家畜は草の化身Ⅱ

秋まきの飼料作物 展示は案内

飼料作物を作つて、草刈りの努力時間の節約をはかることは、農家経営の上から大事なことです。家畜は草の化身とも云われています。よい質の草——飼料作物を栽培して家畜を飼いましよう。農家のみなさんの参考にするため、次のように秋まきの飼料作物の展示ほが設けてあります。よく見て、とり入れてのきましよう。

展示ほには立札が立ててあります。くわしいことは技術員に聞いて下さい。
一覽表は(イ)種類 (ロ)場所 (ハ)栽培者の氏名となつています。

- ① (イ)ルタバカ、青刈なたね、青刈燕麦、クリムソンクローバー (ロ)山ノ口下道水田 (ハ)岩下次男
- ② (イ)そらまめ、ザツドウインケン、飼料用なたね、イタリアンライグラス、燕麦原種、(ロ)神川中原湯之口貞夫宅前の畑 (ハ)神川中原若草草ハクラ
- ③ (イ)下総カブ、飼料用なたね、クリムソンクローバー (ロ)桜原と中原の分岐点附近 (イ)今村隼美
- ④ (イ)飼料用なたね、(ロ)神川郵便局前水田 (ハ)番園三雄
- ⑤ (イ)甘ルーピン、イタリ
- ⑥ (イ)ラデクローバー、クリムソンクローバー、アルサイクローバー、飼料用なたね、セブントップ (ロ)神川(イ)吉元好哉
- ⑦ (イ)イタリアンライグラス(ハ)宮脇前水田にも飼料用なたね、(ロ)宮脇坂附近の畑 (イ)山南繁彦
- ⑧ (イ)レッドクローバー(ロ)雪之浦水田 (ハ)本釜利夫
- ⑨ (イ)ザドイツケンと燕麦の混播 (ロ)池田の畑 (ハ)前迫栄次、飯屋虎次、飯

を安く、入れ夏の暑い時期には予備肥育程度で持越して九月に入つてから本格的に肥育して年末から春先に売るのが望ましい。

屋繁

- ⑩ (イ)燕麦原種 (ロ)神中原(ハ)園田勝己

(解説)

- ① ルタバカ
かぶの一種で、葉も根も収量が多い。牛、山羊、豚によい。

- ② 青刈なたね
普通のなたねを、青刈にまく。どの家畜にもよい

- ③ クリムソンクローバー
荳科作物で、採種も可能。どの家畜にも向く

- ④ イタリアンライグラス
栄養価が高く、再生力が強い

- ⑤ 下総かぶ
ルタバカに似ているが、葉はカンテンに似ている。牛、山羊によい
- ⑥ 甘ルーピン
ルーピンで飼料になるもの、牛によい

飼 料

二月は粗飼料が不足して、濃厚飼料をやらず、かへつて病気になるや飼料作物の春蒔準備として、耕起、石灰撒布などして準備をすゝめる。

温床と催芽床で

からいもの増収は

甘藷の在り方については、色々検討の余地がありましようが、あく迄も甘藷の計画生産を図り、一面反収の増加と生産費の節減に努め計画的出荷と、利用は今後さらに積極的になすべきものと言えましよう。

とくに甘藷栽培に当つて、技術の面を詳細に検討すると、まだまだ、改善の余地が多分に残されています。揃つたよい苗を適期に育てること

種イモの選別に特に注意し、普通一個五〇匁以上のものを伏込前に水銀製剤で消毒し、無病種イモの確保、伏込に細心の注意をする。苗床は温床とし、一尺程度踏込み、肥料は、堆肥、鶏糞等を充分やる。床面積をひろげ、反当り五坪以上とし、催芽床を設ける、温床の伏込は、一尺くらいの熟材料を踏込んで、これに人糞尿を坪当一荷かけ、其の上に五寸厚さに堆肥を入れる。さらに鶏糞を撒布して床土を五寸位のせて伏込む其の上から種イモの見えない程度にモミ殻を撒布し、藁束をおいて放熱と雨水の浸入を防ぐ。

踏込後検温し、大体二八度くらいになったとき伏込む。三月上旬に踏込み三月中旬に種イモを伏込む。発芽後

の管理は、土入れ、水かけ、追肥、害虫駆除、間引等に注意し、土入れは芽が一寸位伸びたとき、よくくさつた堆肥を土の代りにやり床の乾燥を防ぎ、追肥をかねて、日光空気の流通をよくする。苗が三寸位に伸び

農業改良資金のいろいろ

農業改良資金は次の種類があります。

一、技術導入資金

1、保温折衷苗代を設置するために必要な資材を購入する資金

2、水稻の早期栽培を行うために必要な資材を購入する資金

3、耕土培養事業において施用する物の購入資金

4、みつまた又はこうぞの共同育苗ほをつくるために必要な資材を購入する資金

5、桑園の改植を行うために必要な桑苗の購入資金

二、施設資金

1、水田の水口冷水被害防止施設の造成に要する資金

2、耕作用トラクターの購入資金

3、病虫害防除用動力機具の購入資金

4、畜力用農機具の購入資金

たとき、生育のおくれたものを間引いて、されに土入れる。

温床反当十坪位のもの催芽床にする必要はないが、場所の関係で特に床面積がせまいので、催芽床を奨める。こうして立派な苗を育て本圃の植付は、六月中旬迄に終る。早植え、多肥栽培は、必ず高畦で水平植と

6、果樹又は野菜の給水施設に必要な資金

7、簡易かんがい排水施設に必要な資金

8、飼料用動力カッターの購入資金

9、農業者の副業として農産加工を行うために必要な施設資金

10、畜舎の新築資金

11、たい肥舎新築資金

12、サイロ新設資金

13、小規模な土地改良資金

14、耕地防風林を必要とする苗木購入資金

以上技術導入資金と施設資金を列記しましたが、この資金は、それぞれ標準事業費が定められ、その事業費の七〇%が技術導入資金で、施設資金は八〇%が貸付金となります。

なお償還は各々その事業によつて違つていますが注意して下さい各個人の申込みは関係農業協同組合で取扱いますので組合で貸付申請書を作らうにして下さい